

オフィス部門でのエコ活動

製品の研究開発や生産部門の活動とともに、コーセーではオフィス部門での環境活動にも力を入れています。

2003年度もオフィスで使用する事務用品等のグリーン購入品目の拡大、複写機等の事務機器の省電力製品への切り替え促進、分別ボックスの設置による一般廃棄物の分別収集の徹底、ECO MASTER(定流量弁)採用による節水、オフィス照明の省エネ電子式安定器による節電、エアコンの温度設定の管理等の活動を展開しています。しかし、一番大切なことは社員一人一人が常に意識を持って、日常的なエコ活動に取り組むことであると考えています。

グリーン購入の拡大

コーセーでは全事業所で、コピー用紙やプリンター用紙等日常業務で使用する紙は全て再生紙を使っています。その他、ノートや事務用封筒、筆記用具など事務用品の購入、名刺等の購入にあたってグリーン購入を促進しています。

現在、グリーン購入に切り替えた事務用品はボールペン、サインペン、蛍光ペン、鉛筆などの筆記用具からファイル、ノート類、消しゴム、付箋紙、のり、スタンプ台、のし袋など前年度の81品目から91品目に拡大させています。

もちろん、定期的に「グリーン購入ネットワーク」から情報を収集したり、業者の協力を得てエコマークやグリーンマークの付いた事務用品をまとめて紹介したカタログ『グリーンブック』を作成して全部署に配布、グリーン購入の普及に努めています。また、このようなグリーン商品を主体に電子購買の導入に向けた準備も進めています。

コピー用紙や封筒の複数回使用

オフィスで毎日のように大量に消費されるのがコピー用紙と事務用封筒です。コピー用紙はコピーの失敗、不要となった資料、パソコンからのプリントアウトなど廃棄量が増える傾向にあります。使用量の削減努力はもちろん、裏面が利用可能なものはペーパーリサイクルボックスなどに保管しておき、ファックス受信や連絡文書等のコピーに活用しています。事務用封筒に関しては、社内連絡用に使用するものは、使用済みのものを再使用することを基本にしています。また、表に宛先と発送元を記入する用紙を貼って、繰り返し使用も進めています。

このような活動は以前から個人の工夫として行われていましたが、全社的に普及させるための啓蒙活動を行ってきた結果、現在では日常業務の中に定着しています。

ペーパーレスの文書管理システムを採用

コーセーでは現在、全社員にグループウェアと呼ばれるコンピューターネットワークシステムを導入していますが、日常的な電子メールによる連絡はもちろん、文書管理や各種の届け出、社内連絡文書、交通費等の清算などもシステム上で運用できるので、大幅なペーパーレス化につながっています。特に文書管理では活用したいデータや閲覧したい文書、社内回覧文書から個人あての連絡文書等まで全てを社員ひとりひとりがコンピューター端末からアクセスするシステムとなっています。

節電の拡大

節電もひとりひとりの意識によるところが大きいのですが、コーセーでは全社的に活動の拡大をはかっています。実施の方法は事業所ごとの事情にあわせて実施していますが、離席時のパソコン電源、使っていない部屋や会議室、トイレなどはこまめに電源スイッチを切ることを励行しています。また、エアコンによる温度調節は、従来はオフィス全体を一元管理していたためフロア全体で調節していましたが、新設オフィスはもちろん、それ以外のオフィスも改装を機にブロック単位でエアコンの温度調節が可能な設備を導入し、必要に応じた温度管理で節電効果を高めるように努めています。特に電力消費が集中する夏は温度を1～2度高めに設定して節電に努めています。

その他、コピー機等のOA機器も省エネタイプへの切り替えを実施しています。

